「韓国への岐阜県産材の展開 ～木造軸組構法の構造からのアプローチ（その2）～」

岐阜県立森林文化アカデミー　教授●小原　勝彦

はじめに

２０１７年より韓国へ向けた木造建築構造の技術支援活動を実施してきました。今年度は新型コロナ感染症の影響により韓国へ渡航できない状況が続きましたので、日本国内でできる技術支援のための活動を進めてきました。

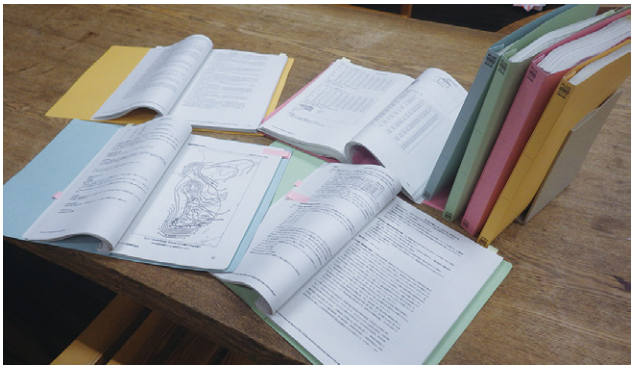

写真1　韓国の木造建築関係の関連法令について和訳

そこで、韓国の木造建築関係の関連法令について和訳を試みました。今年の３月頃から８月までの期間で、効率の良い機械翻訳の手法について模索し、そして試行錯誤を続けてきました。下記の関連法令について、２７００ページ超を和訳することができました。

韓国の耐震設計の考え方

韓国では木造軸組構法の建物について構造計算をしなければならず、その構造計算の結果を「構造安全性と耐震設計書に記入し、建築確認時に提出する義務があります。

そこで、韓国の関連法令を読み解きながら、韓国の耐震設計の考え方についてまとめてみました(図1)。木造２階建て程度の住宅【重要度Ⅱ】の場合、中地震で層間変形角1/225radで設計しています。

最近、韓国で地盤の評価方法などに関する法改正があったため、以前作成した「構造安全及び耐震設計確認書ツール」のバージョンアップをしました。

そのユーザーズ　マニュアルとして、韓国の実務者向けに韓国語版と、韓国への輸出など林業・木材・木造建築関連の方々向けに日本語版を作成しました。

このツール＆マニュアルを使って、韓国の実務者にオンライン技術研修をしました。韓国の木造建築業界関連の皆さんも構造に関しては非常に苦手のようで、

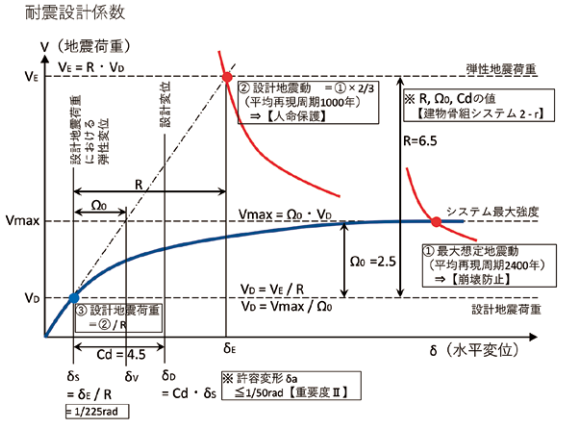

図1　韓国の耐震設計係数

「耐震設計がわかりやすい」と、どうやら好評なようです。

このツールを使って、岐阜県産材も徐々に利用が増えています。この半年の私の巣ごもり「韓国法令翻訳作業」も業界の役に立っているようです。

日本国内でも日本の林業・木材・木造建築関連の方々向けに技術研修実施の御要望を寄せていただいています。コロナの影響が収まったところで研修会を実施したいと考えています。

両国の橋渡しとなるような人材育成をアカデミーが担っていくことが必要だと考えています。

写真2　オンライン技術セミナー